

厚生労働科学研究費補助金
国際健康危機管理ネットワーク強化研究事業

国際的な感染症流行等の発生動向の監視システムのあり方、
非政府機関とのネットワークのあり方、国際機関との連携や
情報共有システムのあり方に関する研究

平成18年度 総括・分担研究報告書

主任研究者 岡崎 勲

平成19（2007）年 3月

目 次

I. 総括研究報告

岡崎 勲	1
------------	---

II. 分担研究報告

1. 非政府機関との連携・情報共有システムに関する研究

3

分担研究者 渡辺 良久
分担研究者 木ノ上高章
分担研究者 渡辺 哲

資料1：ウェブ全体の概要	7
--------------------	---

資料2：NGO訪問時の説明時資料	9
------------------------	---

資料3：NGOアポイントスケジュールおよび会合参加者	27
----------------------------------	----

資料4：Questionnaire for Interview on Prototype of NGO Website on Communicable Diseases Information Sharing	29
---	----

資料5：返信アンケート回答票	33
----------------------	----

2. 各国政府機関との連携・情報共有システムに関する研究

67

分担研究者 木ノ上高章
分担研究者 渡辺 良久

資料1：Surveillance systems Bureau of Epidemiology	71
---	----

資料2：県畜産局サーベイランス用様式	87
--------------------------	----

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

89

総括報告書

国際的な感染症流行等の発生動向の監視システムのあり方、非政府機関とのネットワークのあり方、国際機関との連携や情報共有システムのあり方に関する研究

主任研究者 岡崎 勲 東海大学医学部基盤診療学系非常勤教授

研究要旨 前年度までの、日本国内およびタイ国でのNGOアンケート調査に基づき、情報提供の手段があれば積極的にかかわっていききたいとするタイにおいて、感度を上げた保健医療情報収集のためのウェブサイトデザインして、パイロット版を実際にインターネットに乗せて、この有用性をタイの辺境地に活動地域を持つNGOを含むチェンマイのNGO有用性・修正点等について意見聴取した。同時にタイにおけるサーベイランスおよび政府部内の緊急疾病情報のながれについて、公衆衛生省担当官およびチェンマイ県畜産局から意見聴取した。ウェブの有用性については高い評価を寄せられた。タイでは非常に充実したサーベイランスシステムを持っているものの官民連携および、セクター間連携が十分か疑問であった。NGOからの情報を吸い上げることでできる各国語版のウェブが運営されればWHOのウェブとも補完しあいながら大きく国際貢献に資することができよう。

分担研究者

渡辺 哲（東海大学医学部教授）

渡辺 良久（東海大学医学部助教授）

木ノ上高章（東海大学医学部講師）

古屋 博行（東海大学医学部講師）

A. 研究目的

日本経済の減速により、高齢化と相まった医療費負担の重圧が問題となり、近い将来には総人口減少による経済鈍化が追い討ちをかけることとなる。したがって、将来、発展途上国等からの大規模な人口流入による日本経済の安定化が図られることも十分に想定される。しかし、彼らの保健医療需要構造は従来の日本人とは異なることから、将来の保健医療サービスの構造は、大きく変化せざるを得ないと考ええる。同時に、感染症の流入も現在以上に急速かつ大量になると想定されるため、国際機関、各国政府機関、非政府機関等との連携や情報共有のあり方も問題となってくる。

一方、発展途上国においては、限られた資源を有効に投入するために、国民の健康状況を把握し、優先順位をつけて保健医療システムを再構築すべきであるが、保健医療統計が未整備で、国民の医療需要構造を把握する手段がない。先進国のように、保健医療政策で多少の無駄を行っても支障のない国と異

り、試行錯誤の許されない発展途上国にとっては、真に必要なものであるといえる。

そこで、本研究は、「国際機関、各国政府機関、非政府機関等との連携や情報共有のあり方を研究するとともに、発展途上国における国民の保健医療需要構造の把握・将来予測の手法を導入することにより、わが国の将来の発展途上国からの人口流入による保健医療需要変化シミュレーションの基礎資料とするとともに、発展途上国における適切な保健医療計画の策定、保健医療システムの再構築・施策評価を推進する」ことを企図して研究を遂行してきた。

しかし、将来の異質な人口流入による保健医療需要予測部分については、ラオス国内のインフラの状況から昨年度で終了とし、本年度は、昨年度までに行った、アンケート調査の結果から日本では、感染症情報を積極的に利用したいという団体が多いのに対して、タイでは、積極的に情報を提供したいとの回答が多かった。本年度は更に推し進め、タイにおけるNGOからの保健医療情報共有のためのプラットフォームを考究することとした。

B. 研究方法

分担1：非政府機関との連携・情報共有システムのあり方に関する研究

保健医療情報（おもに新興・再興感染症等の情報）

共有のためホームページを作成し、そのパイロット版を公開して情報提供に積極姿勢を示しているタイにおいて、特に辺境地でも活動の可能性のある地方都市に出向き、直接ウェブの説明をし、その有用性や改良点などについてアンケートを提出してもらう。

分担2. 各国政府機関との連携・情報共有システムのあり方に関する研究

分担研究1において、マヒドン大学サラヤキャンパスアセアン健康開発研究所の研究協力者の助力を得るにあたり、実際のタイにおける感染症サーベイランス事業および人畜共通感染症に鑑みて、畜産の管理について、地方畜産局における活動状況について訪問聴取を行った。

以上の2分担よりなる。詳細は各分担項目参照。

C. 結果および考察

分担1：非政府機関との連携・情報共有システムのあり方に関する研究

タイはNGOアンケート調査の結果からのみならず、A. 山岳部国境を周辺国と共有する、B. 熱帯森林部を擁する、C. 国内に多くの民族を抱えるなど、一人わが国のみならず、このウェブが全世界で利用されるならば絶好のパイロット地区とも言える。これに基づき、NGOネットワーク化のためのウェブ（パイロット版）を作成して、アップロードし、ネットワーク化にも積極的な回答を寄せたタイでパイロット版プロトタイプについて意見聴取した。対象NGOは、ミャンマー国境に近く国境地帯でも活動を持つと考えられるチェンマイで渉猟した。各団体はそろってこのウェブの有用性を訴えた。

本研究により、生きたネットワーク構築のしくみができあがれば、公的情報を補完する有用な情報交換の新しいツールとなり、日本から諸外国に行く場合のデータベースとなるとともに、諸外国人を受け入れる場合にもその背景情報として活用できるものとなりうる。

分担2. 各国政府機関との連携・情報共有システムのあり方に関する研究

タイ公衆衛生省におけるサーベイランス活動の情報聴取を行い活発な活動を行っているものの、彼らの開発

したウェブは、部内のみ書き込みとなっており、情報の公開についても時間を要することがわかった。速報性、緊急警告性については活用が難しいことがわかった。また畜産局における家畜感染症サーベイランスについては、家畜と野生動物の関連から環境行政部門との連携が重要であることが知らされた。

D. 結論

1. 感染症情報共有ネットワーク化のためのウェブについて、必要性が強く示された。
2. サーベイランス活動が盛んなタイにおいてさえ、新興感染症におけるセクター間調整が必須であると思われた。

分担報告書 1

分担研究報告書

非政府機関との連携・情報共有システムに関する研究

分担研究者 渡辺 良久 東海大学医学部基盤診療学系助教授
分担研究者 木ノ上高章 東海大学医学部基盤診療学系講師
分担研究者 渡辺 哲 東海大学医学部基盤診療学系教授

研究要旨 過去に年間の日本国内、タイ国のNGOに対するアンケート調査から、NGOによる保健医療情報のプラットフォームができた際に、日本のNGOは多くが活用したがっていたが、タイのNGOは積極的に情報を提供したいということがわかった。それに基づき、今年度は、NGOの日常の活動の中で生起する保健医療情報について情報プラットフォーム（ウェブサイト）を作成して、インターネット上にアップロードして、実際に辺境地で活動するNGOを訪れ、生の声を聴取した。アンケートの結果と同様にいずれもウェブサイトの有用性を指摘し、今後プロトタイプの本格運用をする場合には、公的支援の下、なるべく現地の言語で、現地の協力を得て、既存の同類情報サイトと連携して、よりよい感染症情報が共有されることが望まれる。

A. 研究目的

平成17年度にはタイのNGOに対して平成16年度の日本のNGO調査と同様の郵送調査を実施した。平成16年度、17年度の調査結果から、発展途上国の地方部で活躍するNGO団体スタッフは感染症発生の危険性にさらされている一方、入手できる情報は限られており感染症流行情報の入手を切望していることが明らかとなった。日本のNGOの多くは保健医療知識がなく、予防接種の必要性の知識もまままま赴任し、マラリアなどの感染症に罹患している。公的機関からは機動的な情報を得られず、公的情報ネットワークの時間差をロコミで短縮して安全確保に寄与していることが伺えた。日本のNGOが情報入手の必要性を訴え、情報提供にはやや消極的であることと対照的に、タイの現地NGOの調査結果からは積極的に情報提供したいという意欲がみられた。

従って、情報の提供、収集に熱心なタイのNGOを中心にネットワーク構築を行い、情報が充実した時点で日本のNGOに参加を呼びかけていく方法が、最も現実的と結論された。

そこで、平成18年度はまず、NGO情報交換サイトを立ち上げ、タイNGOに参加を呼びかけることでネットワークの試行モデルとすることとした。

B. 研究方法

1. 基本設計を我々で行い、タイの実情に合うように、研究協力者である、マヒドン大学アセアン健康開発研究所のスタッフと協議し、最終設計を決め、ウェブを開発した。（資料1：ウェブサイトの各ページ）

2. 作成したウェブサイトをインターネット上にアップロードして、NGOを実際に訪れ、ウェブサイトに対する生の声を収拾した（資料2：説明時資料）。同時にアンケートを手渡し、ウェブに実際にアクセスした後のコメントを記入して、メールで送信してもらった。

C. 結果および考察

1. ウェブページは、（1）ログイン部分、（2）一般的情報提供のための部分、（3）団体登録画面、（4）会員情報提供画面、（5）保健医療情報登録、

認証部分からなる。ウェブサイトの流れは、資料1に記載した。登録画面は、一旦登録できれば恒常的にアクセスできるようにIDとパスワードを発行するようにして、そのための登録について若干敷居を高く（入力量が多く）した。会員メインページには掲示板において会員間の連絡を容易にすることを考えた。保健医療情報登録画面は、登録者の資格、職位を確認したり、またこれらの欄からポップアップメニューが発生するようにして、入力の支援をするようにした。具体的疾病情報の登録では、事務局での認証作業、後の集計の便宜を考慮して、ICD10の表とリンクさせた。

2. 対象NGOは、ミャンマーへの国境に近い地方都市チェンマイを選び、選定については、研究協力者のアセアン健康開発研究所のスタッフのダイレクターから滞在期間中に調整のつく団体とした(図1)。(資料3:アポイントスケジュールおよび会合参加者)



図1. 意見聴取したNGO



写真1. MAP基金でのWEB説明の一コマ

アンケートは、(1) NGOの保健医療情報プラットフォームの必要性、(2) ウェブサイトのデザイン、(3) インターネット通信のアクセスについて、(4) そのほかよりなる(図2)。英語版とタイ語版を用意して、我々にメールで送致してもらった(資料4)。5段階評価でいずれも高い評価を伝えてきた。すなわち、このNGO間の情報の提供、参照の事業の有用性を指摘し、デザインについても一定の評価を得た。しかしながら、ポイントが低いのは、各団体のWEB担当者は、デザインにフラフィックなどを含めてもう少し魅力的にするべきだとのコメントを寄せてきた。これは、現地での通信状況を鑑みて、なるべく軽いウェブサイトを設計したためであるので、当然予想した結果であった。インターネットのスピードについて、速いと返答していることとは矛盾するようだが、彼らが返答したインターネット環境はNGOの本拠地がおかれているチェンマイ市内での通信環境だと思われた。携帯電話を利用したモバイルのウェブサイトアクセスにおいても利用可能なウェブサイトを心がけたが、市内の通信が複雑化する時間帯においては、著しく通信速度が低下した(資料5: アンケート回答票)。

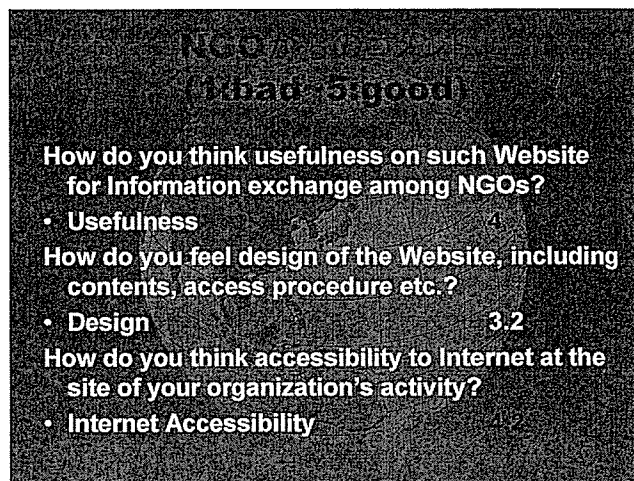


図2. NGOからのコメント評点

D. 結論

昨年、まずタイでウェブの有用性を確認し、情報の集積を経て、日本のNGOが現地に赴くときなどに参考になるように、国内NGOにもアナウンスして参加を呼びかけるということが今後考えられると考案した。

本年度は、タイの辺境地で活動するNGOを想定

してウェブサイトの使い勝手について意見聴取を行ったが、需要が高いことがわかった。有用性を指摘する中には、NGOが、情報を提供するのみでなく、他の団体が情報を入手したら、早急にその情報が参照できることも期待していた。

WHOもGOARNの活動により、全世界の約140施設と提携して、年間300件前後の情報査定を行っているが、連携団体は、アウトブレイクが発生した場合のアクションを起こせる能力を備えているなど、きわめて敷居が高い。また国連機関であるので、公用語の使用となる。

本ウェブサイトのプロトタイプ試行により、この運営は無料で運営し、英語だけでなくなるべく現地公用語までのウェブとして、現地カウンターパートとウェブ運用事務局と密な関係のもと、運用し、同時にWHOなどの公的機関とも連動できるようにすることがその目的を果たすためには肝要であると考えられた(図3)。

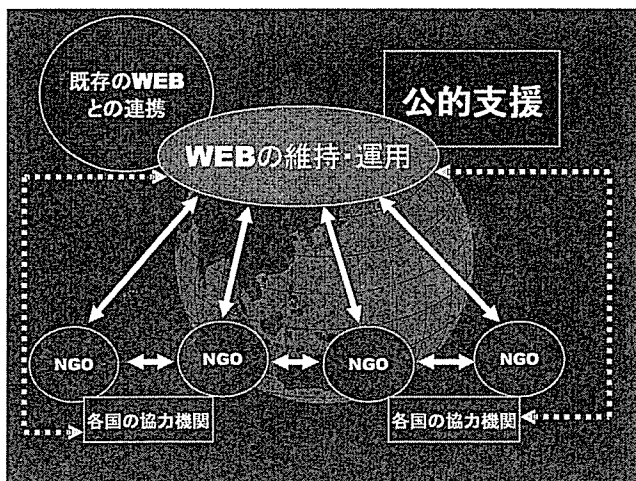
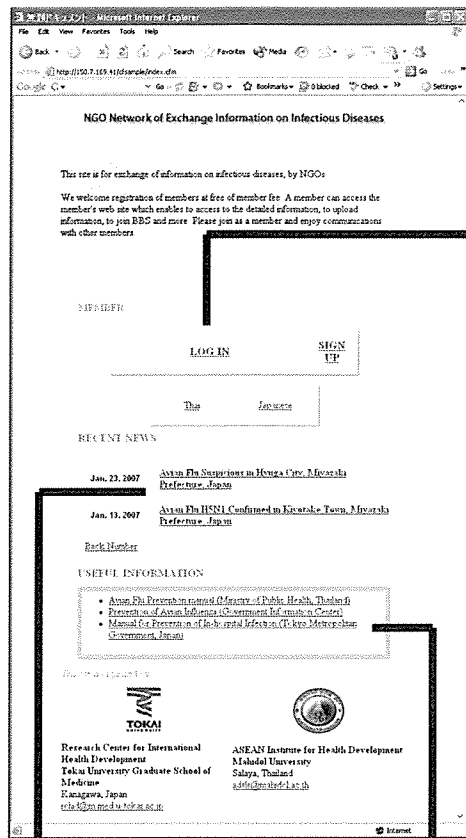


図3. WEBの展開

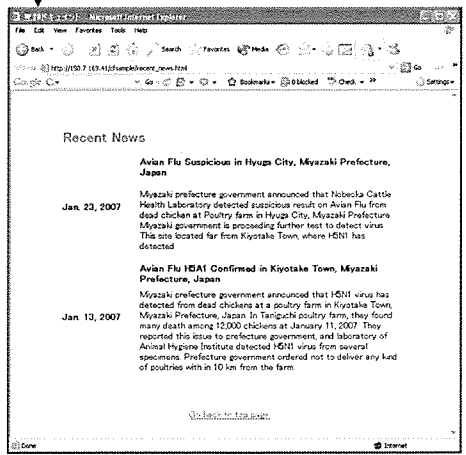
分担 1 資料編

Sequence of Pilot NGO Website

資料1 Web Site Main Page (index.cfm)



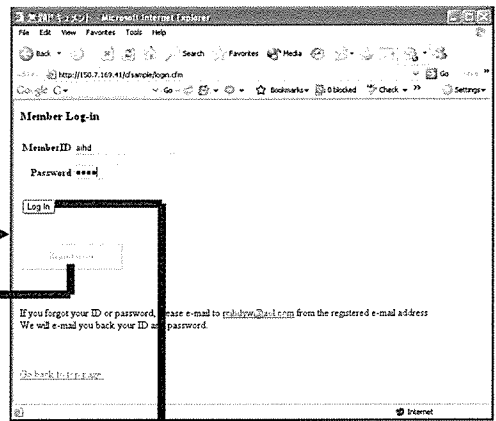
Recent News Page (recent_news.html)



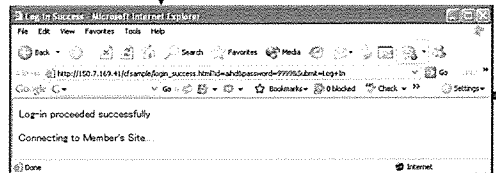
Linked Page



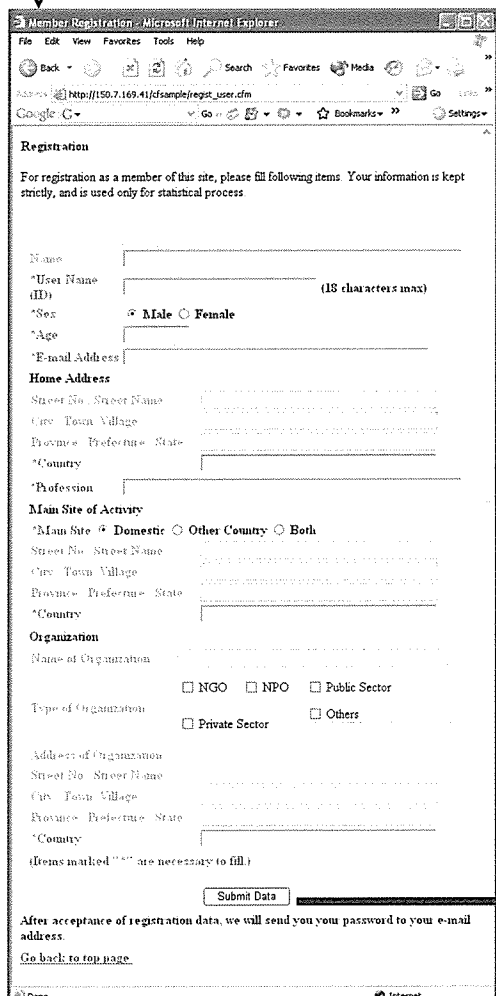
Member Login Page (login.cfm)



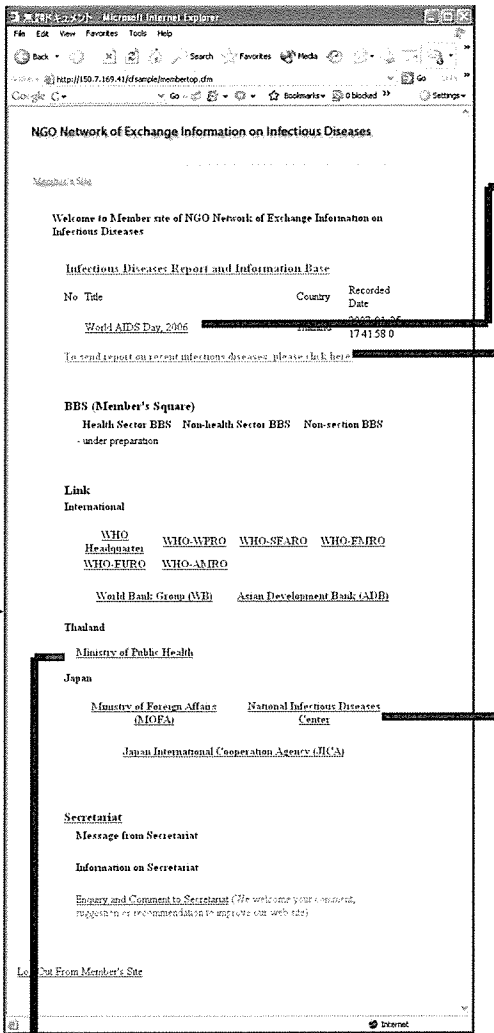
Login Success Page (login_success.html)



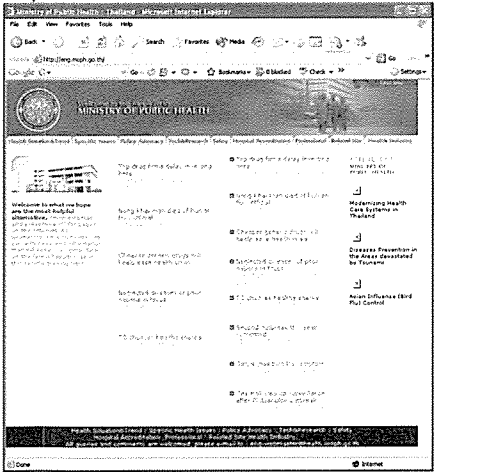
New Member Registration Page (regist_user.cfm)



Member Site Main Page (member_top.cfm)



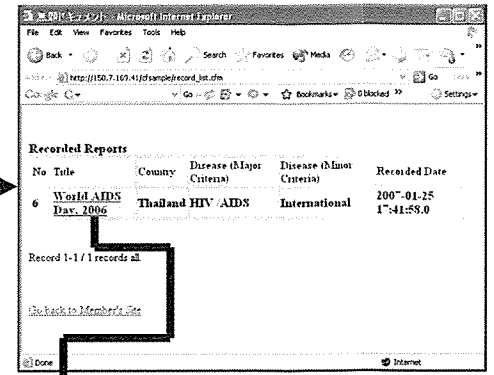
Linked Page



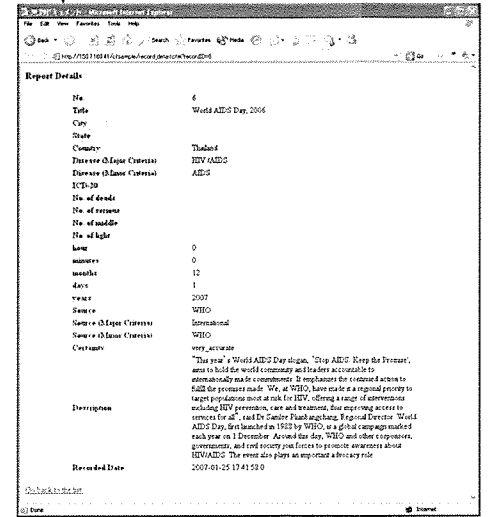
Registration Error Alarm



Information /Report Retrieval Page (record_list.cfm)



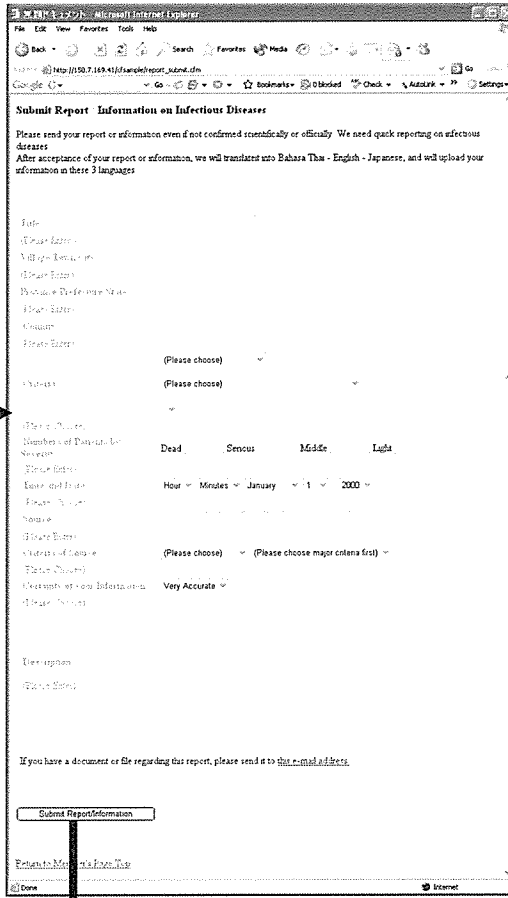
Information /Report Detail Page (record_detail.cfm)



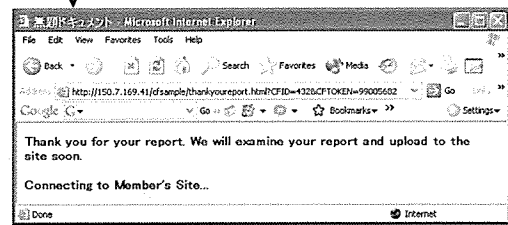
Linked Page



Information /Report Submission Page (report_submit.cfm)



Report Acknowledge Page (thankyoureport.html)



This site is organized by



Research Center for International Health Development
Tokai University Graduate School of Medicine
Kanagawa, Japan
rchid@m.med.u-tokai.ac.jp



ASEAN Institute for Health Development
Mahidol University
Salaya, Thailand
adsls@mahidol.ac.th

**FY. 2006 Research Plan on
“Research on Monitoring System on Outbreak of International Communicable Diseases,
Networking with Non-Government Organizations and Cooperation and Information
Sharing with International Organizations”**

Research Center for International Health Development
Tokai University Graduate School of Medicine, Kanagawa, Japan

1. Outline of Research

1) Title of Research

“Research on Monitoring System on Outbreak of International Communicable Diseases, Networking with Non-Government Organizations and Cooperation and Information Sharing with International Organizations”, subsidized as a part of “Research on International Health Crisis Management Network” by Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan

2) Period of Research

01/04/2004 – 31/03/2007 (FY 2004-2006)

3) Researchers

Criteria	Name	Title and Organization	Duty
Chief Researcher	Isao Okazaki	Visiting Professor, Tokai University	Management of Research, Planning of Research and Ethical Management
Joint Researcher	Tetsu Watanabe	Professor, Tokai University	Research on Health Demands
Joint Researcher	Yoshihisa Watanabe	Associate Professor, Tokai University	Computer Programming and Health Forecasting
Joint Researcher	Takaaki Kinoue	Assistant Professor, Tokai University	Research on Networking, Research on Health Resources and Correspondence
Joint Researcher	Hiroyuki Furuya	Assistant Professor, Tokai University	Statistical Analysis

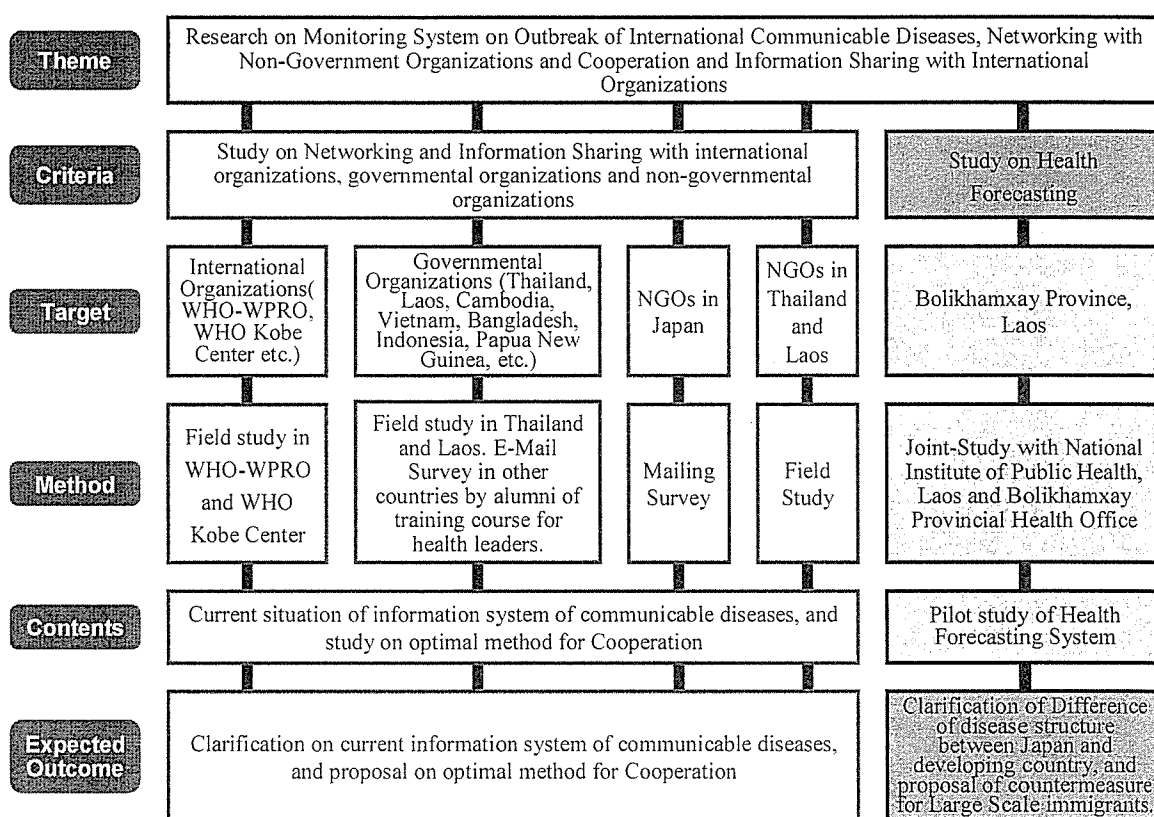
4) Background of Research

During recession of Japanese economy, growing aging population and expansion of health expenditure will be caused big burden to Japanese economy again. And in near future, predicted decrease of total population will be hit Japanese economic recovery. Therefore, it is also fully assumed that stabilization of the Japanese economy by the large-scale migrants from developing countries etc. will be attained in the future. However, since their health demand structure differs from the current Japanese, it seems that the structure of future medical care service cannot but change a lot. Cooperation and information sharing with international organizations, governmental organizations of each country, a non-governmental organizations, etc will be more important, since inflow of communicable diseases also becomes more quickly and extensive than present.

In developing countries, although restructuring of health system and reallocation of limited health resources are needed, which are prioritized based on people's health structure, but they don't have enough system to handle health statistics and also no means to grasp national health demand structure. It can be said that it is very required for developing countries who are not allowed trial and error in developed countries.

5) Research Plan

This research is divided to 2 parts. First part is to establish a concept of networking and information sharing with international organizations, governmental organizations and non-governmental organizations. Second part is to establish method of identify health demand structure and health forecasting in developing country, and it will be applicable for simulation on analysis of immigrant to Japan, and it will be applicable for health planning, restructuring of health system and evaluation of health strategy in target country.



2. Results of Research in FY. 2004 -2005

1) Study on Networking

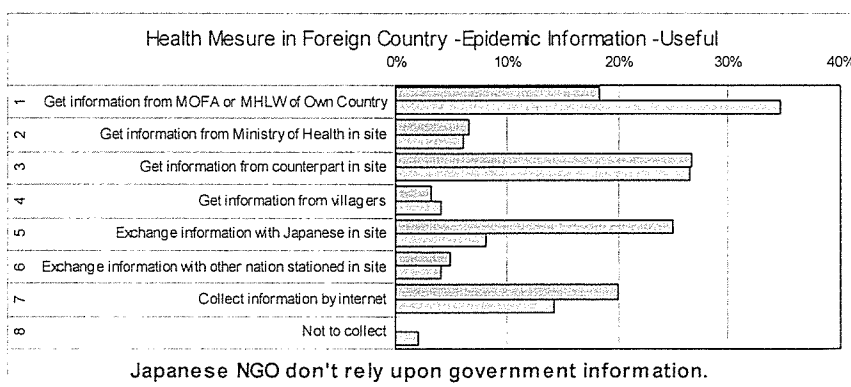
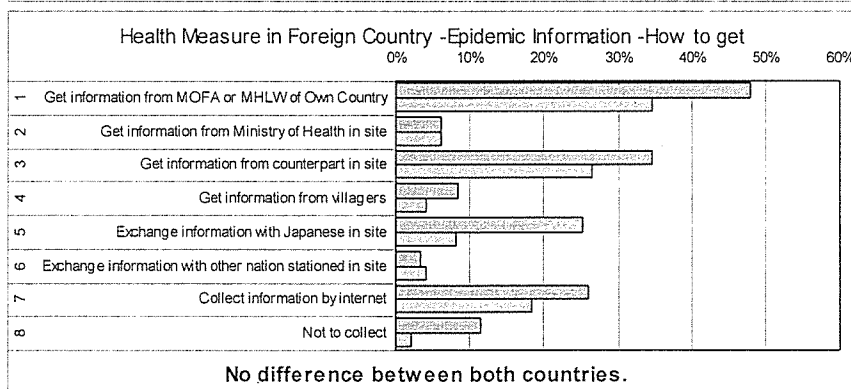
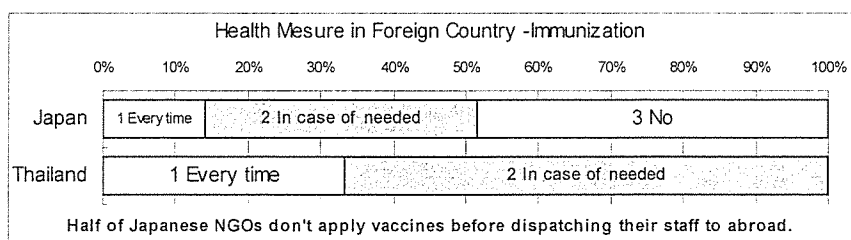
We collected information on networking visited international organizations, such as WHO-WPRO, Manila, Philippines, WHO Kobe Center, Kobe, Japan. And, we visited Ministry of Public Health, Thailand and Ministry of Health, Laos. We also visited to identify activities of NGO, visited ASEAN Institute for Health Development, Mahidol University, Thailand, ACCESS (NGO Association), Thailand. For other countries, we collected information by e-mail utilizing our network of the

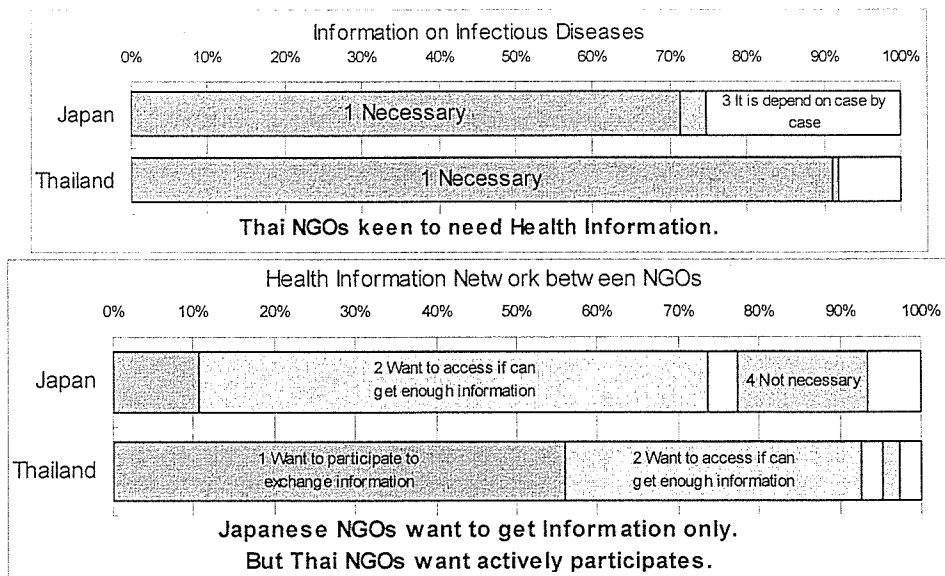
Research Center, such as India, Philippines.

We also did mailing survey for NGOs in Japan in 2004, and in Thailand in 2005. From these comparative surveys, we found characteristics of NGOs in Japan and in Thailand.

Staff of Japanese NGOs are mostly working in rural area in developing countries, and exposing high risk of infection, but available information is limited. So they are keen to demanding getting outbreak information on infectious diseases. Most staff of Japanese NGOs have not enough knowledge on health care and dispatched without any vaccinations, then they infected by Malaria etc. Although they are collecting health information from public institutions, but useful information were communications with local counterpart, or with Japanese residents in the site. Besides most of Japanese NGOs pointed out needs of information but negatively on proving information, Thai NGOs are aggressive to join network providing information.

Success of networking is based on freshness of information which updated in-time, to providing real information from frontier. In this context, existing networks between governmental organization and international organizations or between governmental organizations and NGOs have limitation, most of which are only “Net” without “Work”. Based on this study, we found solution for establishing new active network, which will be became new tool for information exchange, and living database for whom visiting abroad, and for background information when accepting foreigners.



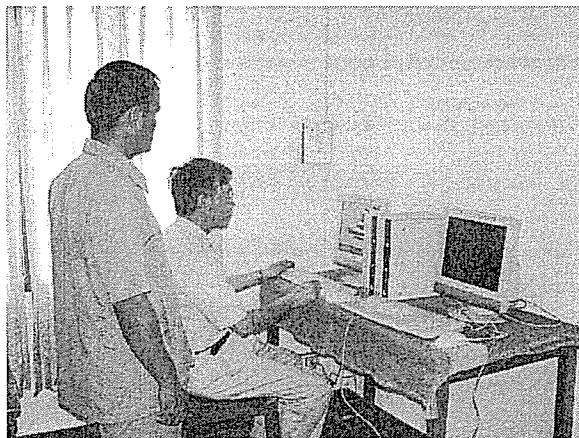


2) Study on Health Forecasting

In 2004, we collected classification of diseases based on ICD-10 in Laos, but it was very limited which does not cover all diseases. So, we visited Ministry of Public Health, Thailand to get information on ICD-10TM which is specialized to Thai situation, to apply for development of classification of diseases in Laos. And, we collected health demand data in national level, provincial level, district level and village level. But it was incomplete such as they do not have age group population data etc.

We visited Bolikhamxay provincial health office and Bolikhan district health office for discussion on pilot site for study. We agreed Muangmai Health Center and Bolikhan District Health Office as pilot sites on BFT. And, we developed pilot system which is using Excel as an outpatient record.

In 2005, we installed desktop computers to pilot site and tried to connect internet. But, access to internet is still very behind at the pilot sites. We could access only from mobile phone of latest model, but we failed trial on remote access from other computer installed central office. Although our concept was to establish remote access system, which can collect up to date data from health center directly, but it is still needed a time in Laos to expand and improve internet environment. Because of this result, we decide to halt "Study on Health Forecasting" for a while, not to continue in 2006.



Installing desktop computers at Bolikhamxay Provincial Health Office.



Trial for accessing to internet via mobile phone, at Muangmai Health Center, Bolikhamxay Province.

3. Research Plan in FY. 2006

1) Study on Networking

a) Establishment of Pilot System for Information Sharing

Based on results of the study in FY. 2004-2005, we will develop pilot system to collect and provide information from /to NGO staff working in rural area of developing countries. We will open it to the internet and operate it. And, through its trial operation, we will collect claims and improve the system.

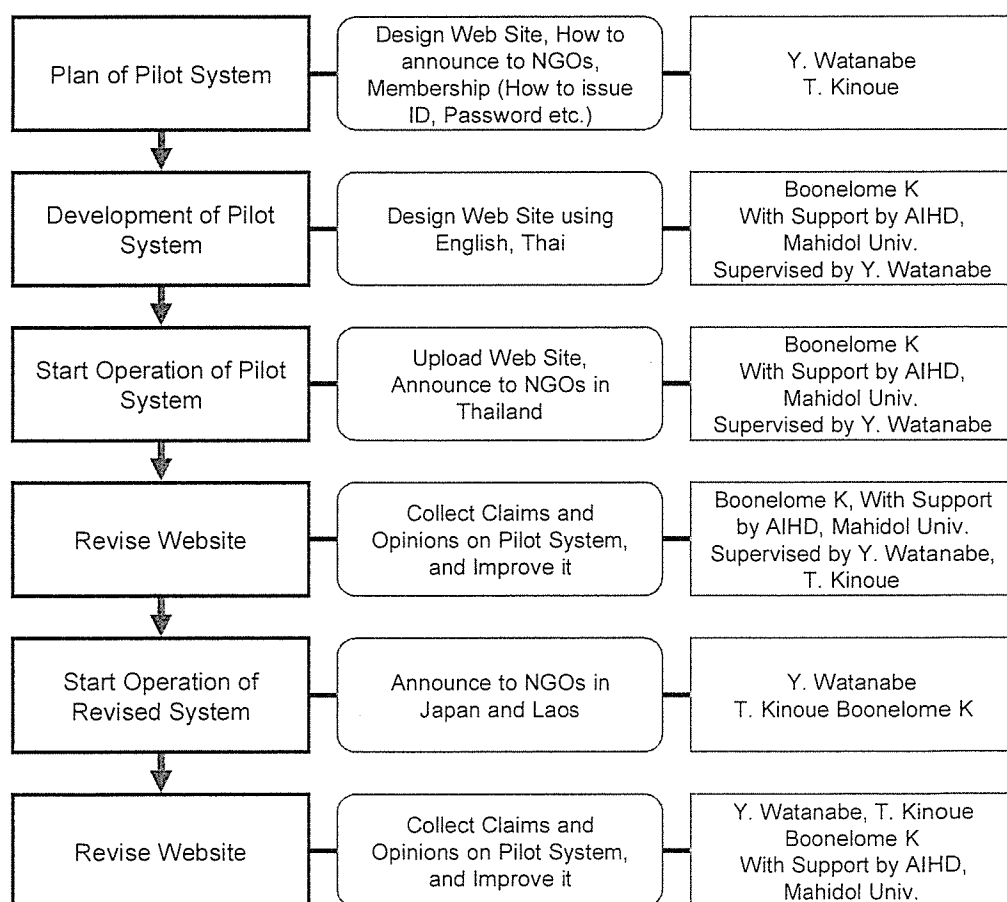
b) Interview on International Organizations, Governmental Organization and NGOs

We will visit International Organizations, Governmental Organization and NGOs, and collect their opinion showing our results of operation of pilot system.

c) Proposal development for Collaboration and Information Sharing between International Organizations, Governmental Organization and NGOs

Based on results of operation of pilot system and results of interview of International Organizations, Governmental Organization and NGOs, we will make proposal for further collaboration and information sharing between organizations.

Plan of Establishment of Pilot System for Information Sharing

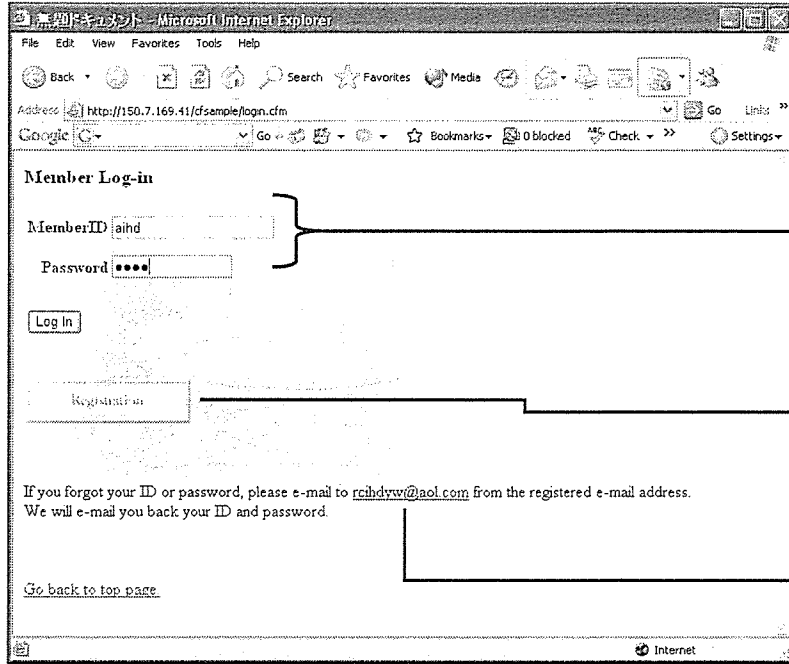


1) Web Site Main Page

The screenshot shows the main page of the NGO Network of Exchange Information on Infectious Diseases. The browser window is Microsoft Internet Explorer, displaying the URL <http://150.7.169.41/cfsample/index.cfm>. The page content includes:

- Header:** "NGO Network of Exchange Information on Infectious Diseases"
- Introduction:** "This site is for exchange of information on infectious diseases, by NGOs. We welcome registration of members at free of member fee. A member can access the member's web site which enables to access to the detailed information, to upload information, to join BBS and more. Please join as a member and enjoy communications with other members."
- MEMBER SECTION:** Contains "LOG IN" and "SIGN UP" buttons. Annotations point to "Go to Login Page" and "Go to Registration Page".
- Language Selection:** Contains "Thai" and "Japanese" buttons. Annotations point to "Go to Japanese Language Page" and "Go to Thai Language Page".
- RECENT NEWS:** Lists two news items from January 2007:
 - Jan. 23, 2007: [Avian Flu Suspicious in Hyuga City, Miyazaki Prefecture, Japan](#)
 - Jan. 13, 2007: [Avian Flu H5N1 Confirmed in Kyotake Town, Miyazaki Prefecture, Japan](#)
 An annotation "To show News for public" points to this section.
- USEFUL INFORMATION:** Lists three manuals:
 - Avian Flu Prevention manual (Ministry of Public Health, Thailand)
 - Prevention of Avian Influenza (Government Information Center)
 - Manual for Prevention of In-hospital Infection (Tokyo Metropolitan Government, Japan)
 An annotation "To show Manuals and Handbooks for public" points to this section.
- Footer:**
 - "This site is organized by" with logos for TOKAI UNIVERSITY and Mahidol University. An annotation "Secretariat of English site and Japanese site" points to this area.
 - Contact information for the Research Center for International Health Development at Tokai University (Japan) and the ASEAN Institute for Health Development at Mahidol University (Thailand). An annotation "Secretariat of Thai site" points to the Mahidol University contact info.

2) Member Login Page

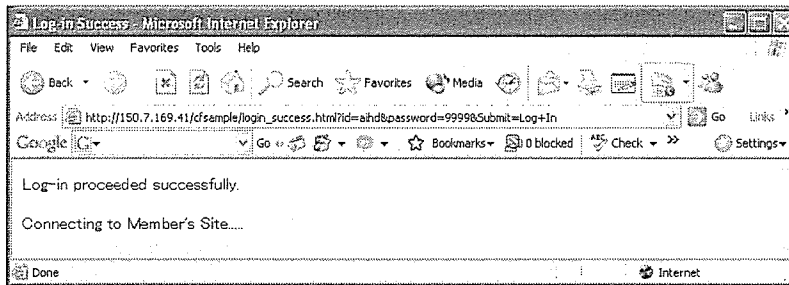


In case of Member,
1) Enter ID
2) Enter Password
3) Click [Login] button
Then, go to Member Main

Go to Registration Page

In case of Member forgot ID or Password, send its to registered e-mail address, to avoid illegal access.

In case of proper Member ID and Password, below screen will shown shortly, then go to Member site main page.



3) New Member Registration Page

Registration

For registration as a member of this site, please fill following items. Your information is kept strictly, and is used only for statistical process.

Name

*User Name (ID) (18 characters max)

*Sex Male Female

*Age

*E-mail Address

Home Address

Street No., Street Name

City, Town, Village

Province, Prefecture, State

*Country

*Profession

Main Site of Activity

*Main Site Domestic Other Country Both

Street No., Street Name

City, Town, Village

Province, Prefecture, State

*Country

Organization

Name of Organization

Type of Organization

NGO NPO Public Sector

Private Sector Others

Address of Organization

Street No., Street Name

City, Town, Village

Province, Prefecture, State

*Country

(Items marked "*" are necessary to fill.)

After acceptance of registration data, we will send you your password to your e-mail address.

[Go back to top page.](#)

Name is not used in the Web site, for privacy protection.

Handle Name is used in the Web site.

To choose main site of activity for statistic purpose

To choose type of organization for statistic purpose

After acceptance of registration data, we will send ID and Password to registered e-mail address, for security reason.

4) Member Site Main Page

NGO Network of Exchange Information on Infectious Diseases.

Member's Site

Welcome to Member site of NGO Network of Exchange Information on Infectious Diseases.

Infectious Diseases Report and Information Base

No.	Title	Country	Recorded Date
	World AIDS Day, 2006	Thailand	2007-11-25 17:41:58.0

[To send report on recent infectious diseases, please click here.](#)

BBS (Member's Square)
 Health Sector BBS Non-health Sector BBS Non-section BBS
 - under preparation

Link

International

[WHO Headquarter](#) [WHO-WPRO](#) [WHO-SEARO](#) [WHO-EMRO](#)
[WHO-EURO](#) [WHO-AMRO](#)

[World Bank Group \(WB\)](#) [Asian Development Bank \(ADB\)](#)

Thailand

[Ministry of Public Health](#)

Japan

[Ministry of Foreign Affairs \(MOFA\)](#) [National Infections Diseases Center](#)

[Japan International Cooperation Agency \(JICA\)](#)

Secretariat

[Message from Secretariat](#)

[Information on Secretariat](#)

[Enquiry and Comment to Secretariat](#) (We welcome your comment, suggestion or recommendation to improve our web site)

[Log Out From Member's Site](#)

Annotations:

- [Infectious Diseases Report and Information Base](#) → Goto Information /Report Retrieval Page
- [To send report on recent infectious diseases, please click here.](#) → Goto Information /Report Submission Page
- [Health Sector BBS / Non-health Sector BBS / Non-section BBS](#) → Goto BBS page (Not available in pilot site)
- [WHO Headquarter, WHO-WPRO, WHO-SEARO, WHO-EMRO, WHO-EURO, WHO-AMRO, World Bank Group \(WB\), Asian Development Bank \(ADB\), Ministry of Public Health, Ministry of Foreign Affairs \(MOFA\), National Infections Diseases Center, Japan International Cooperation Agency \(JICA\)](#) → Goto each web site directly
- [Message from Secretariat / Information on Secretariat](#) → Goto Secretariat page (Not available in pilot site)
- [Log Out From Member's Site](#) → Goto First page of the web site, and can not return to this page without re-log in.